



地域産業との交流・連携

[今後の方向と目標]

知的財産本部や産学連携センターを通して、大学のシーズと産業界のニーズのマッチングを推進し、大学と地域産業との共同研究や大学の研究成果の企業への移転を進めるとともに、姫路書写キャンパスのインキュベーションセンター²⁷や高度産業科学技術研究所の放射光施設「ニュースバル」を活用し、産業界のニーズに対応した共同研究の推進や、大学発ベンチャー等の新規起業を支援する。

特に、以下の事項を、取組に関することをはじめとした具体的な目標とする。

インキュベーションセンターの利用率100%

[施策の取組]

地方自治体・公益団体・金融機関等と協力し、大学の知的資源を活かした地域づくりや地域課題解決に向けた支援を推進する。

大学の研究成果として取得した特許等の知的財産については原則、大学に帰属することとともに、技術移転機関（TLO）²⁸等関係機関と連携し、研究成果の移転・実用化を推進する。

産学連携センターの充実、中小企業の創業・第二創業の支援や専門知識を生かした技術指導など、各部署の特性に応じて研究成果を地域・社会に還元する。

「ニュースバル」産業利用ビームラインを活用して、ものづくり産業の基盤を支える分析企業や素材産業等産業界の技術開発を推進する。

インキュベーションセンターの活用等により、新規起業につながる共同研究を推進する。

学内の研究業績を「研究者データベース」として整備し、インターネットを通して広く公開することにより、企業との共同研究に活用する。

²⁷ インキュベーションセンター……大学発ベンチャー等を支援育成する共同実験施設。

²⁸ 技術移転機関（TLO）……「大学等における技術に関する研究成果の民間事業者への移転の促進に関する法律」に基づき事業計画が承認・認定された技術移転事業者を指す。大学の研究者の研究成果である発明（特許）を民間企業等へ技術移転することを主要業務とする。（Technology Licensing Organization）

[これまでの主な取組]

産学連携・地域連携の推進

産学連携の推進による地域産業の活性化を図るため、産学連携センターと自治体、金融機関等9団体との間で、産学連携協力の推進に係る協定を締結し、団体会員に対する講演会、研究発表会、経営アドバイス事業等を実施し地域産業の振興や地域の活性化に取り組む。

全学的な協定締結団体

自治体等との連携...姫路市・姫路商工会議所、宍粟市、神戸商工会議所

金融機関との連携...姫路信用金庫、西兵庫信用金庫、日本政策金融公庫（旧国民生活金融公庫）、神戸信用金庫、兵庫県信用保証協会

地域産業界との連携...はりま産学交流会、神戸産官学²アライアンス 他

学部ごとの協定締結団体...経営学部：兵庫県商工会連合会、尼崎市、養父市商工会 他
経済学部：豊岡市（平成21年8月締結）

知的財産本部の取組

教員及び学生等による研究成果としての知的財産を適切に保護・管理するとともに、積極的な技術移転活動を行っている。また、共同研究等の受け入れに際し、教員に適切なアドバイスをするとともに、企業等との契約業務を支援する。

インキュベーションセンターの活用

姫路書写キャンパスに設置したインキュベーションセンターを活用して、産業界からのニーズに対応した共同研究を推進し、その研究成果を産業界に積極的に移転するとともに、大学発ベンチャー等の新規起業を支援する。

放射光施設「ニュースバル」の活用

高度産業科学技術研究所のニュースバルの産業利用を促進し、微細加工技術のほか物質・材料の分析・評価等の産業利用技術の高度化を図る。

大学発ベンチャーの起業

高度産業科学技術研究所・工学部が関与した大学発ベンチャー企業が、3社起業している。

技術相談等への対応

地域産業界からの技術相談等の要請に対して、産学連携センターが窓口となり、学内関係部局のほか、公設試験研究機関や新産業創造研究機構等関係機関と連携を図りながら、積極的に対応する。

研究者データベースの構築（再掲 p.86）